

令和４年 市長記者会見（当初予算（案）概要）

日 時：令和４年２月２１日（月） 午後１時３０分～午後２時３５分

場 所：射水市役所会議室３０５・３０６

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
富山テレビ放送、建設工業新聞、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、財政課長、財政課

○質疑応答の概要

Ｑ１． 令和４年度の予算（案）は積極型か緊縮型か。

Ａ１． 令和２年３月に策定した第２次射水市総合計画の後期実施計画の中では、令和４年度の予算の規模は約３７２億円程度と捉えていたので、それと比べると１０億円の増となっている。これについては、総合計画に掲げた事業を着実に推進したうえで、DXの推進、グリーン社会の実現、地域コミュニティの維持再生、安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる充実、女性活躍の推進や新型コロナウイルス感染拡大防止に係る取り組みなどについて、特別枠として積極的な予算配分をした分が増になったと捉えている。そういった意味では、結果的に積極予算となったと考えている。

Ｑ２． 財源不足を補うために特に工夫したことについて伺いたい。

Ａ２． 国の補助金や交付税措置率の高い市債などの有利な財源の活用を図り、また国の補正予算なども見据えながら前倒しできるものについては３月補正予算に計上するなどの工夫をした。

Q 3. フットボールセンターやクリーンピア射水基幹的設備改良工事などの大きな予算がつく大型のハード事業はひと段落したようだが、今後新たな事業は出てくるのか。

A 3. 大型事業への投資的経費については、令和3年度と比較して9億円余りの減となっており、これはクリーンピア射水の基幹的設備改良工事が終了したことが大きな要因である。元々、総合計画の後期実施計画の中でも令和4年度についてはこの規模の減になるだろうと捉えていた。現在確実に見込まれる大型事業は、衛生センターの長寿命化である。その他、もう少しDXに具体的な予算を、というイメージを持っておられた方も多いかと思うが、現状では検討の途中段階であり、今回は計上できるもののみ確実に計上した。今後庁内ワーキンググループでの検討や民間団体、高等教育機関との連携をさらに進め、具体的な事業に結晶したタイミングで思い切った予算付けも必要になってくると思っている。

Q 4. 昨年11月の市長選で公約を掲げた直後の予算編成だったが、公約はかなり意識したのか。

A 4. 具体化に向けた途中段階だが、DXの推進については計上できる事業については計上し、また女性活躍の推進について、女性リーダーの育成やリーダー同士のネットワークづくりのための女性活躍塾事業、女性のキャリアアップを応援する資格取得経費の助成事業を新たに立ち上げた。また、子育てしやすいまちづくり、特に「子育てや学びがもっと楽しくなるまち」をさらに推進するという観点から、子ども医療費助成の対象を18歳まで拡大した。県東部ではすでに18歳まで医療費を助成しているところもあるが、射水市ではこの間、対象を拡大するのではなく子育て支援の質を高めようということを意識した取組を行ってきた。しかし新型コロナウイルス感染症の影響が進む中、子育て世帯の経済的な負担の軽減の重要性が高まってきており、また、今までの射水市の子育て支援は高校生世代への支援が少し弱いということを認識していたこともあり、今回18歳まで医療費助成の対象を拡大した。